

第三回意見交換会 議事録

平成 17 年 8 月 20 日 14:30 ~ 16:30

会場 前橋総合福祉会館 3階3号会議室

参加者 12 名

1. 現状報告

- ・ NTTコミュニケーションとの取組み(ポータルサイトの構築)
- ・ コニカミノルタMGとの取組み(画像連携システムの構築)
- ・ 神戸大学森井教授との取組み(ツーショット認証システムの構築)
- ・ タイ国との病診連携の取組み(群馬大学と連携)

2. フリーディスカッション 「マイカルテについて」

問診のデータや検査データは自分で入れるのか

データを入れるのは家族で協力

人間ドックのデータをCDでくれる(済生会病院)

紙のデータからデジタル化

行政で行っている健康診断のデータはデジタル化されていないところが多い

携帯のサイトで検査結果を入れられるサイトがある

- ・ 有料で月 200 円
- ・ 携帯だと病院にいてデータを見せられるから便利である
- ・ データの入力がしづらい

医療機関のチェックを入れては？

- ・ 医療機関の評価なのか？
 - ・ 評価ではなく、医者に聞かなくてはいけない項目のチェック。病気の診断や、治療方法の理解、投薬内容の理解をする為のチェックである
 - ・ 問診による診断は 7 割、検査が 1 割、触診が 1 割、分からないが 1 割
 - ・ 医療機関のマイナス要素を変えていくのは患者である
 - ・ まずは問診の部分が出来てからの、付加価値としてならいいのではないか
- 個人情報保護法に伴うセキュリティは第一に考えなければならないのでは？
- ・ インターネットを利用したデータの管理は心配である
 - ・ 自分のデータは自分で管理しては？(加古川市ではICカードで自分のデータを管理)
 - ・ セキュリティに関しては専門家に負わせるしかない
 - ・ 認証の複数(ツーショット認証)に期待している

認知症の早期発見・うつ病の早期発見ができる問診を入れては？

毎日付けられるような工夫も必要

マイカルテに病人はあまり関心がないのでは？

- ・ 病人予備軍の人が対象
- ・ 生活習慣病などの予防に…

病名ごとのネットワークがある

時間のかからない入力の方法

コンセプトをはっきりさせることが重要

- ・ 健康のキーワード
厚生省は医療・介護・福祉を一緒にしようとしている 医療費の削減になる
- ・ 医療と健康は違う
- ・ 住民の意識の向上
- ・ 地域性について